

## 第 8 回気象ビジネスフォーラム開催報告

令和 6 年 2 月 29 日（木）に「第 8 回気象ビジネスフォーラム～気象データアナリストが拓く気象ビジネスの未来～」をオンライン開催し、会員・非会員合わせて全国から約 384 名の方に参加いただきました。

今回のフォーラムでは、気象データをビジネスに活用できる人材「気象データアナリスト」をテーマとして、企業における活躍事例並びに気象データアナリスト育成講座の概要及び受講者の声の紹介や、ビジネスにおける気象データアナリスト活躍の展望に関する議論を行いました。

フォーラム冒頭、國場幸之助国土交通副大臣と古屋圭司衆議院議員（気象業務振興議員連盟会長）からご挨拶をいただきました。國場副大臣は、「気象情報・データはデジタル技術を活用したサービス提供やビジネスモデル開発において基盤的なデータセットとして非常に重要な要素」と述べ、気象データの活用により社会課題解決に資するビジネスが発展していくことへの期待を示されました。

古屋議員からは、「精緻な気象情報の提供は新しいビジネスチャンスにつながっていく。気象ビジネス推進コンソーシアムには、人材の発掘・育成、そして新しい分野への創出含めて精力的に活動してほしい」との応援メッセージをいただきました。



國場国土交通副大臣によるご挨拶



古屋衆議院議員によるご挨拶

基調講演では、東京大学先端科学技術研究センターの中村尚教授（WXBC 副会長）から、「地域気象データと先端学術による戦略的社会共創拠点（ClimCORE）」プロジェクトで進める高品質な地域気象データの概要と、その幅広い社会・産業利用の可能性について紹介いただきました。講演では、株式会社ハレックスの藤岡浩之代表取締役社長から、気象データアナリスト育成によるコンサルティング力向上等の取組について、MS&AD インターリスク総研株式会社の堀江啓部長・フェローから、自然災害予測技術の開発における気象データアナリストの役割について紹介いただきました。

講演後のトークセッションは、東京大学大学院情報学環の越塚登教授（WXBC 会長）をモデレータとして、二部構成で実施しました。第一部では、講演者 3 名（前述）及び気象庁気象ビジネス支援企画室の竹内綾子室長をパネリストとして、社会のニーズを踏まえ気象ビジネスを進めていくために必要な人材育成や、気象データアナリストに期待される役割等について議論を行いました。

第二部では、気象データアナリスト育成講座の提供者（岐阜大学 吉野純教授、株式会社スキルアップ NeXt 小縣信也氏・中村景子氏、株式会社データミックス 藤井省吾氏・Weather Data Science 合同会社 加藤芳樹氏）及び受講者（全日本空輸株式会社 ANA エアポートサービス出向 遠藤昌樹氏、株式会社ウェザーマップ 熊澤里枝氏、IT エンジニア 水林亨介氏）をパネリストとして、各講座の概要や特色、受講者の動機や経験、今後の展望等を紹介いただきました。



トークセッションの様子

講演やトークセッションの様子は「気象ビジネス推進コンソーシアム（WXBC）」の YouTube チャンネルで公開しておりますので、ぜひご覧ください。

第 8 回気象ビジネスフォーラム（YouTube 再生リスト）

<https://www.youtube.com/playlist?list=PL2KiA3sLodhjK8vSftw9jTTnDFj4oesMS>

今後も WXBC は気象データの利活用促進、気象データを扱える人材の育成支援、気象データを有効活用した既存ビジネスの効率化・新規ビジネスの創出支援等に積極的に取り組んでまいります。